

うっほ公園ねこの会

大阪市公認「公園ねこ適正管理推進サポ-ア-」
www.utsuhocat.com



生活力紹介
 「うっほ公園ねこの会」は2011年8月に発足し、大阪市「公園ねこ適正管理推進サポ-ア-制度」に登録しているサポ-ア-として、サポ-ア-申請をしている約20名が、毎月サポ-ア-の東園・西園にいる飼っている「ねこのお世話をしています。主な生活力は、
 ①繁殖防止のための遊学去や手術
 ②餌を餌をしない・適正給餌
 ③周辺清掃による環境美化・糞尿の掃除
 などです。現在、サポ-ア-内のねこは1年半で行った結果、2013年からはサポ-ア-外のねこの遊学去や手術が生活力をあげています。



おもてなさい
 うさぎ
 ニア77イヤーを777777にしてみませう!
 本の高さに合わせて折り込んで、巻き込めば出来あがり!

Q1
 どうしてエサやりが必要なの?
 A1
 毎日決まった時間に給餌をすることで、ねこが公園に定住するようになって、他の場所でゴミを漁ったり、人々の家に入り込んだり、といったトラブルがなくなります。

Q2
 殺処分の方が個体数が減った結果が早く表れるのでは?
 A2
 捨て猫や手術済みの飼っている人が少ない限り、残念ながら個体数が減ることは無い。
 何よりも野良猫のためにできる大切な命、わたしたちは、「いのちの大切さ」を伝えたいと思っています。

大阪のボランティア 不妊手術推進 野良猫公園から消えた
 「寿命を全う」殺処分減らす
 大阪市公認「公園ねこ適正管理推進サポ-ア-」のメンバーが、ボランティアとして活動している。彼らは、野良猫の寿命を全うするために、不妊手術を推進している。これにより、殺処分が減り、公園から野良猫が消えた。

